

基本目標1 湯河原町にしごとをつくり、町内で就労できるようにする

《基本的方向》

①新たな雇用を生む産業の振興

国道135号からの人の流れを変える道の駅の設置や、キャンプ・アウトドア施設の整備、駅周辺の活性化、温泉場エリアの整備などにより、基幹産業である観光の活性化を図ります。

あわせて、観光客の増加に伴う消費の増加により、商業・サービス業の振興を図るとともに、ゆがわら認定産品制度や海産物の活用事業などにより、第一次産業の活性化を図ります。

②誘客につながるイベント開催

シニア向けのスポーツイベントや若者向けの野外文化イベントをはじめ、湯河原らしいイベントを開催し、町内での宿泊につなげ、観光業やサービス業を活性化させます。また2020東京オリンピック・パラリンピックを契機に、外国人観光客増大のための積極的なPRに努めます。

③空き家・空き店舗の活用

空き家・空き店舗・空き事業所などを把握し、空き情報を提供することで、若手起業家や事業所の進出を促進し、若者の町内での就労を支援します。

数値目標

		実績 平成26年度 (2014年度)	実績 平成27年度 (2015年度)	実績 平成28年度 (2016年度)	実績 平成29年度 (2017年度)	目標 平成31年度 (2019年度)
町内事業所若者雇用創出数		—	—	—	—	100人
入込観光客数	日帰り観光客数	335万人 (H25)	306万人 (H26)	254万人 (H27)	285万人 (H28)	370万人
	宿泊観光客数	59万人(H25)	58万人(H26)	57万人(H27)	58万人(H28)	65万人

具体的な事業とKPI（重要業績評価指標）

1) 道の駅の設置事業

地元農林水産物の直売所や観光情報発信拠点としての機能だけでなく、湯河原らしい体験プログラムなどを準備した「道の駅」を設置し、国道135号通行車両を町内へ誘導するシンボリック施設とする。

■ KPI（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
道の駅利用者数	—	—	—	—	60,000人

【実施事項】

- 平成27年度
 - ・（仮称）ゆがわら地場産品直売所及び観光拠点の開設に向けた調査を実施
- 平成28年度
 - ・（仮称）ゆがわら地場産品直売所整備検討委員会を設置
 - ・候補地を川端公園に決定
 - ・直売所から「道の駅」を目指すことに方針変更
 - ・建屋及び駐車場について検討
- 平成29年度
 - ・候補地を「川端公園」とした基本構想、基本計画を策定
 - ・先進地の視察を実施（道の駅とみうら「枇杷倶楽部」、道の駅「清川」）
 - ・関係機関各所と駐車場台数について協議

【今後の検討事項等】

- ・基本設計を実施予定
- ・海浜公園及び近隣の民地を駐車場として利用する方策を検討

2) 企業等の誘致事業

古民家や廃業施設を利用した事業所の誘致、複合商業施設や娯楽施設の誘致及びテレワークを推進しサテライトオフィスの誘致を進め、若者の移住・定住を促す。

※テレワークとは…情報通信技術を活用し、「在宅勤務」や「会社のサテライトオフィス勤務」での勤務形態を取ることにより、都市部と同じように働ける環境を構築するもの。

■ K P I (重要業績評価指標)

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
転入者数	1,005人	958人	1,098人	1,127人	1,500人

【実施事項】

○平成28年度

- ・大型宿泊施設（エクシブ湯河原離宮）が完成
- ・民間事業者による「富士屋旅館の再生」に係る「歴史的資源を活用した地域活性化に向けた連携協定」を当該事業者等と締結

○平成29年度

- ・民間事業者による「富士屋旅館の再生」及び「湯元通り整備」が進行

【今後の検討事項等】

- ・官民協働による進め方を研究
- ・温泉場エリア以外の地区における企業誘致について研究
- ・先進事例を参考に、テレワークを推進している企業等のリサーチ方法やアプローチ方法、また、空き家とサテライトオフィスのマッチングなどについて研究

3) スポーツイベントの開催事業

湯河原温泉オレンジマラソンのような湯河原らしさを活かした宿泊を伴うスポーツ大会（サッカー・フットサル・ラグビー・野球・ソフトボール・スローピッチ・トライアスロン等）を開催または誘致し、町外参加者および宿泊客の増加を図る。

■ K P I（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
スポーツイベント町外参加者数	3,290人	2,980人	2,794人	2,826人	3,500人

【実施事項】

- 平成27年度
 - ・湯河原温泉オレンジマラソンを開催
 - ・スローピッチソフトボール大会の誘致
- 平成28年度
 - ・湯河原温泉オレンジマラソンを開催
- 平成29年度
 - ・湯河原温泉オレンジマラソンを開催

【今後の検討事項等】

- ・湯河原温泉オレンジマラソンを開催予定
- ・既存スポーツ大会の開催方法、対象者の検討や新たなスポーツ大会の開催または誘致を検討

4) 野外文化イベントの開催事業

幕山公園やゆめ公園をはじめ、湯河原のレジャー施設（海、山、川）を最大限利用し、野
外の文化イベントを開催して集客を図る。

■ K P I（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
野外文化イベ ント参加者数	7,356人	15,200人	17,747人	31,664人	30,000人

【実施事項】

- 平成26年度
 - ・ほたるの宴を開催
- 平成27年度
 - ・ハロウィンイベントを開催
 - ・ほたるの宴を開催
- 平成28年度
 - ・ハロウィンイベントを開催
 - ・星空教室in湯河原温泉（星ヶ山公園）を開催
 - ・ほたるの宴を開催
- 平成29年度
 - ・ハロウィンイベントを開催
 - ・ハロウィンイベントに合わせ秋季花火大会を実施
 - ・星空教室in湯河原温泉（星ヶ山公園）を開催
 - ・ほたるの宴を開催

【今後の検討事項等】

- ・ハロウィンイベントや秋季花火大会を引き続き開催
- ・星空教室in湯河原温泉を開催予定
- ・ほたるの宴を開催

5) 趣味100選による新たな魅力づくり事業

広報、HP、地方紙等により湯河原で体験可能な趣味活動100選を募集し選定する。選定を行った趣味等の活動を行う団体や、体験型の観光施設情報をまとめ、冊子やホームページにより公開することで、湯河原町にすれば何でもできることをアピールし、移住定住の促進を図るほか、多様なイベントや伝統文化体験とも結びつけて誘客を図る。

■ K P I (重要業績評価指標)

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
サークル等への 新規加入者数	—	—	79人	285万人	500人
日帰り観光客数	335万人	306万人	254万人		350万人

【実施事項】

○平成28年度

- ・ 転入者向け「趣味百選（町民活動編）」冊子を作成し、転入者への配布、町内の病院や郵便局への配架、移住セミナー等で活用

○平成29年度

- ・ 観光情報冊子「趣味百選（オプショナルツアー編）」を作成
- ・ 転入者向け「趣味百選（町民活動編）」を移住説明会や転入者へ配布

【今後の検討事項等】

- ・ 転入者向け「趣味百選（町民活動編）」の改訂を検討
- ・ 「趣味百選（町民活動編）」を移住セミナーで活用し、移住を促進
- ・ 「趣味百選（オプショナルツアー編）」を観光PRとして活用

6) 駅周辺（商店街等）の活性化事業

関係団体と連携して、湯河原駅周辺の商店街等を中心とする空き店舗を活用した新規開業支援、地場産品直売所の設置などによる活性化を促進する。

■ K P I（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
駅前明店街での 新規開業店舗数	—	—	3件	7件	5件

【実施事項】

○平成28年度

- ・「ぶらん市」を実施（年4回）
- ・創業支援セミナーを開催

○平成29年度

- ・湯河原駅完成オープニングイベントに合わせて「ぶらん市」を実施
- ・創業支援セミナーを開催
- ・民間事業者の「見えるお菓子工場」がオープン（平成29年11月）

【今後の検討事項等】

- ・商店街の回遊・滞留時間増加へ寄与する取組みを検討
- ・シャッター街化している通りに新しい店舗を出店しやすい環境を整備

7) 開運のみち整備事業

源頼朝ゆかりの「鎌倉幕府開運街道」を、湯河原の自然を堪能しつつ地元の勇士土肥実平と源頼朝に関連した歴史や逸話などを交えた「開運のみち」として、パワースポットをめぐる「開運ツアー」を開催する。

■ K P I (重要業績評価指標)

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
開運ツアー参加者数	—	—	71人	53人	500人

【実施事項】

○平成27年度

- ・開運街道の草刈りを実施
- ・開運街道のパンフレット作成

○平成28年度

- ・開運街道の整備を実施
- ・開運グッズの開発、製作及び配布
- ・パワースポットの選定及び設置（五所神社、城願寺、幕山）
- ・SNSを活用した情報発信

○平成29年度

- ・商工会、観光協会と協働し、パワースポットで撮影した画像をSNSに投稿し掲示すると、町内の飲食店や土産物店で割引が受けられるキャンペーンを実施

【今後の検討事項等】

- ・温泉場地区に新たなストーリー性を持つパワースポットの増設を検討
- ・SNSによる継続的な情報発信

8) キャンプ・アウトドア施設の整備事業

海・山・川の自然に恵まれた湯河原で、バーベキューやオートキャンプなど自然を満喫できるレジャーが可能な施設を整備し、一層の集客を図る。

■ K P I (重要業績評価指標)

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
アウトドア施設の利用者数	2,750人	2,405人	2,018人	1,777人	3,000人

【実施事項】

- 平成26年度
 - ・幕山公園におけるバーベキューの許可（4月から10月までの期間午前9時から午後4時まで）
- 平成27年度
 - ・幕山公園におけるバーベキューの許可（4月から10月までの期間午前9時から午後4時まで）
- 平成28年度
 - ・幕山公園におけるバーベキューの許可（4月から10月までの期間午前9時から午後4時まで）
 - ・オートキャンプ実施のための現状把握及び課題の洗い出し
- 平成29年度
 - ・幕山公園におけるバーベキューの許可（4月から10月までの期間午前9時から午後4時まで）

【今後の検討事項等】

- ・オートキャンプ実施について継続的に検討

9) 耕作放棄地の観光資源化事業

年々増加しているミカン畑などの耕作放棄地について、市民農園化や四季を彩る花を栽培するなどして、観光資源化を図る。

また、ハウス栽培でブランド野菜を作る方への費用の助成や、農地のオーナー制度整備により、若者の農業への就業を支援する。

■ K P I (重要業績評価指標)

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
農地等のオーナー制度利用者数	86人	80人	84人	71人	100人

【実施事項】

- 平成26年度
 - ・官民協働により体験型農業（みかんの木オーナー制度）を実施
- 平成27年度
 - ・官民協働により体験型農業（みかんの木オーナー制度）を実施
- 平成28年度
 - ・官民協働により体験型農業（みかんの木オーナー制度）を実施
- 平成29年度
 - ・官民協働により体験型農業（みかんの木オーナー制度）を実施

【今後の検討事項等】

- ・PR活動を促進し、新規利用者の獲得を図る

10) 海産物の活用事業（他の事業へ統合）

~~観光客や宿泊客に新鮮な地魚を安価で提供できるよう、関係機関と連携する。~~

■ KPI（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度(2014年度)	目標値 平成31年度(2019年度)
地魚を安価で提供する施設数	—	1件

【実施事項】

○平成28年度

- ・ 民間連携により農漁業活性化ウェブサイトを立ち上げ

※基本目標1-1「道の駅の設置事業」へ統合

11) ゆがわら認定産品制度

湯河原町の農林水産物及び加工品等の特産物について、「(仮称) ゆがわら認定産品制度」を創設し、認定した農産物等を「made in ゆがわら」として、広く全国発信していく。

■ K P I (重要業績評価指標)

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
認定特産品数	—	—	0件	0件	5件

【実施事項】

- 平成27年度
 - ・町おこしサミットのテーマ検討
- 平成28年度
 - ・「神奈川みかんグルメ&スイーツサミット」を開催
 - ・「made in ゆがわら認定審査委員会」の立ち上げ
 - ・先進地（熱海市A-PLUS）の視察
- 平成29年度
 - ・「made in ゆがわら認定審査委員会」を開催し、選定の柱となる5項目を決定
 - ・「ゆがわらみかんグルメ&スイーツサミット」を開催

【今後の検討事項等】

- ・PR不足が懸念されるため、菓子組合や飲食店組合など関係団体と連携しながら効果的なPRを実施
- ・幼児、児童、生徒に対し「made in ゆがわら」のロゴマークを募集予定
- ・認定基準を策定し商品を決定、情報発信や販路の確保を行う
- ・生産物（地場産品）としての”made in ゆがわら”との差別化
- ・「ゆがわらみかんグルメ&スイーツサミット」の内容拡充を検討

12) 起業支援事業（他の事業へ統合）

~~空き店舗の実態調査のもと、活用できる空き家を特定し、クリエイターへの創作場の提供、若手起業家への事務所や居住空間の提供を行うほか、若者の事業案を全国公募するなど、若者の起業を支援する。~~

~~あわせて、湯河原町求人サイトの立ち上げなどにより、若者の就業を支援する。~~

■ KPI（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度(2014年度)	目標値 平成31年度(2019年度)
求人サイトを通じた新規雇 用者数	—	100人

※基本目標Ⅱ-10「創業支援セミナーの開催事業」へ統合

13) 2020年東京五輪開催に向けた文化プログラム推進事業

東京オリンピック・パラリンピックに向け、関係団体との連携により湯河原町の歴史や伝統を活かした町民や観光客が広く参加・交流できる文化事業の検討や、イベント開催する。

■ K P I（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
文化プログラム イベント参加者数	1,350人	1,566人	2,982人	2,025人	2,800人

【実施事項】

- 平成27年度
 - ・湯河原文学賞（俳句・小説）を実施
- 平成28年度
 - ・湯河原文学賞（俳句・小説）を実施
 - ・東京新虎通りへ足湯及び物産を出展
- 平成29年度
 - ・湯河原文学賞（俳句・小説）を実施
 - ・町立小学校（3校）にて「東京オリンピック・パラリンピックのマスコットキャラクター投票」に参加

【今後の検討事項等】

- ・湯河原文学賞（俳句・小説）を実施
- ・新たな文化プログラムの検討が必要

14) 外国人観光客の来訪促進のためのPR事業

湯河原町を訪れる外国人観光客の誘客を促進するため、外国語ホームページや外国語パンフレットの作製、外国語での接客によりおもてなしレベルの向上を図るとともに、湯河原町の自然や文化などの資源を活用した外国エージェントへのPRや海外都市との経済交流、民間団体との連携などにより、あらゆるルートでの誘客を促進する。

■ KPI（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
外国人観光客数	1,000人 ※推計値	1,000人	1,500人	2,000人	5,000人

【実施事項】

- 平成27年度
 - ・英語版町ホームページを作成
- 平成28年度
 - ・イタリアのティヴォリ市と友好親善都市提携
 - ・日系人をターゲットとした誘客活動をハワイで実施
 - ・英語表記の観光パンフレットを作成
 - ・飲食店等で活用できる「指さし英会話集「飲食店編」」を作成
- 平成29年度
 - ・日系人をターゲットとしたハワイでの誘客活動（トップセールス）を実施
 - ・狂言の宴前夜祭において英語の同時通訳を実施
 - ・英語表記の梅林散策マップを作成
 - ・姉妹都市等へ海外駐在員を設置することを検討
 - ・イタリアティヴォリ市や韓国忠州市と文化交流やスポーツ交流を実施

【今後の検討事項等】

- ・即戦力となるアジア圏からの訪日外国人もターゲットとして、町の活性化を推進
- ・さらなる外国人観光客の獲得を目指した旅行商品化の検討
- ・外国人に向けたインバウンド観光情報の発信
- ・海外駐在員により、観光情報を現地で発信
- ・外国語を活かせる人材の育成
- ・SNSやメディア等を活用した海外への情報発信

15) プロジェクションマッピング開催事業（事業終了）

四季を通じ雄大な自然景観と出会う「幕山」の山麓斜面に、約4千本の紅梅・白梅が“梅のじゅうたん”のごとく咲きほこる時期に開催される「梅の宴」の夜間イベントとして、幕山の岩肌に映像を投影し、観光客等の誘客を図る。

■ K P I（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
実施日来場者数	—	1,619人	1,391人	300人増

【実施事項】

- 平成27年度
 - ・狂言とプロジェクションマッピングをコラボした「狂言の宴」を開催
 - ・プロジェクションマッピングを単独で3日間開催
- 平成28年度
 - ・プロジェクションマッピングを5日間開催

※費用対効果が小さいため平成28年度をもって終了

16) 街歩き情報配信サービス促進事業

観光立町としての情報発信の強化と、インバウンド対策として、スマートフォン版観光ポータルサイトを立ち上げ、来訪者が街中を楽しんでもらえるようなスマートフォンアプリ（観光AR）を作製する。併せて、アプリ利用の向上を目的に、無料のWi-Fiスポットを整備する。

■ K P I（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
観光ポータルサイトアクセス件数（月平均件数）	—	—	2,816件	4,093件	5,000件

【実施事項】

- 平成26年度
 - ・Wi-Fiスポット1か所を整備
- 平成27年度
 - ・スマートフォンで街歩きに活用できるアプリ「ココシル湯河原」を導入
 - ・Wi-Fiスポット15か所を整備
- 平成28年度
 - ・Wi-Fiスポット9か所を整備
- 平成29年度
 - ・SSIDを統一化する「yugawara Wi-Fi」を整備（平成29年9月開始）
 - ・民間事業者へ「yugawara Wi-Fi」への登録を呼びかけ（10件登録）

【今後の検討事項等】

- ・民間事業者へ登録の呼びかけを引き続き行う
- ・「ココシル湯河原」自体の効果的なPRを検討、実施

17) グローバル人材育成事業

民間の国際交流団体との連携により、インバウンド対策として、外国語に対応できるサポーターの募集・育成のため、町内外国人への日本語教室や日本人への外国語教室を開催する。
(対象言語：英語、中国語、韓国語、スペイン語、タガログ語)

■ K P I (重要業績評価指標)

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
外国語サポーター人数	—	+5人	+4人	+3人	25人

【実施事項】

- 平成27年度
 - ・語学教室を実施
 - ・ペルーデーを開催
- 平成28年度
 - ・語学教室を実施
 - ・オーストラリアの日開催
 - ・外国語及び日本語サポーターの認定
 - ・外国籍住民相談員の委嘱
- 平成29年度
 - ・語学教室を実施
 - ・町民参加型の交流イベント「中国の日 in ゆがわら」開催
 - ・文化討論会「国際フォーラム in ゆがわら」開催
 - ・外国籍住民相談員を8名委嘱

【今後の検討事項等】

- ・語学教室を実施
- ・「イタリアの日」を開催予定
- ・親善都市との民間交流を促進

18) ~~ハロウィンイベント事業（H27実施）（他の事業へ統合）~~

~~ハロウィンに合わせ町内外から仮装したお客さんを招き、装飾された会場にて模擬店や出し物等でもてなし、仮装コンテストを開き、仮装自慢や撮影会を行う。また、地域の飲食店や宿泊施設にも協力を依頼し、観光客等の集客を図る。~~

■ K P I（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度(2014年度)	実績値 平成27年度(2015年度)	目標値 平成27年度(2015年度)
仮装コンテスト参加者 及び来場者数	—	8,000人	10,000人

※基本目標I-4「野外文化イベントの開催事業」へ統合

19) ~~キャッシュレス環境促進事業（H27実施）（事業終了）~~

~~町民や観光客が町内での買物等の際に、クレジットカード等のキャッシュレス決済で支払いができるよう、店舗等に決済環境の整備を行い、地域での生活環境向上及び消費活性化を図る。~~

■ K P I（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度(2014年度)	実績値 平成27年度(2015年度)	目標値 平成27年度(2015年度)
決済端末を導入する事業者数	—	11件	15件

※平成28年度以降は導入した事業者個々で運営するため、事業終了

20) 地域の歴史と文化の探訪に向けた地域資源活用事業

地域に根付いた歴史・文化的な資源を集約した資料集（ガイドブック）を作成し、郷土資料室を中心とした地域探訪のモニターツアーを開催する。

また、自然や温泉及び温泉泥（ファンゴ）を活用した「未病の改善」ツアーを併せて企画し、ニーズ調査を行うことで、広く情報を発信するとともに、多くの観光客を集客し、観光振興の活性化を図る。

■ K P I（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
着地型旅行商品数	—	1件	4件	4件	4件

【実施事項】

- 平成26年度
 - ・温泉泥（ファンゴ）の開発
- 平成27年度
 - ・温泉泥（ファンゴ）のエビデンス取得
 - ・女子大生目線の観光資源発掘調査を実施（東海大学）
 - ・文化財冊子を作成
 - ・郷土資料館改装
- 平成28年度
 - ・温泉泥（ファンゴ）や県西地域の自然を活用した健康ツアーの実証実験を実施
 - ・観光を通じた未病認知度向上調査を実施（東海大学）
 - ・温泉場の風情を残した商業灯の整備に着手
 - ・町立美術館「見えるアトリエ」の整備に着手
 - ・「湯河原歴史探訪街あるきツアー」「源泉ゆがわら町歩きツアー」「鎌倉開運街道ハイキング」の実施
- 平成29年度
 - ・町内を回遊する「湯河原温泉とファンゴの屋下がり」を実施
 - ・湯元通りの整備
 - ・町立美術館「見えるアトリエ」及び「カフェ」のオープン

【今後の検討事項等】

- ・現行のツアーを含めた各種ツアーの内容を再考し、楽しめる着地型商品を企画

21) 地域商業活性化事業

町商工会により、町内の商工会加入店舗等で使用可能なプレミアム商品券を発行し、地元商店街の活性化を図る。

■ K P I（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
消費喚起想定額	66,000千円	82,500千円	66,000千円	66,000千円	66,000千円

【実施事項】

- 平成26年度
 - ・ 66,000千円分の「湯河原温泉地域商品券」を発行
- 平成27年度
 - ・ 82,500千円分の「湯河原温泉地域商品券」を発行
- 平成28年度
 - ・ 66,000千円分の「湯河原温泉地域商品券」を発行
- 平成29年度
 - ・ 66,000千円分の「湯河原温泉地域商品券」を発行

【今後の検討事項等】

- ・ 商業者からも内需の活性化委に寄与しているという意見が多いことから継続して「湯河原温泉地域商品券」を発行予定

22) 宿泊促進事業

旅館協同組合により、プレミアム旅館利用券を発行し、誘客効果の向上を図る。

■ K P I (重要業績評価指標)

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
消費喚起想定額	33,000千円	99,000千円	88,000千円	33,000千円	33,000千円

【実施事項】

- 平成26年度
 - ・ 33,000千円分の「プレミアム旅館利用券」を発行
- 平成27年度
 - ・ 99,000千円分の「プレミアム旅館利用券」を発行
- 平成28年度
 - ・ 88,000千円分の「プレミアム旅館利用券」を発行
- 平成29年度
 - ・ 33,000千円分の「プレミアム旅館利用券」を発行

【今後の検討事項等】

- ・ 観光振興、リピーター客の確保のため、継続して「プレミアム旅館利用券」を発行予定

23) 伝統芸能活性化事業

伝統芸能活性化の一環として、旅館協同組合により芸妓の利用料金のみにより利用できる利用券を発行する。

■ K P I（重要業績評価指標）

事業効果の指標	平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
消費喚起想定額	—	32,000千円	26,000千円	26,000千円	26,000千円

【実施事項】

- 平成27年度
 - ・芸妓の利用券として「舞・お座敷券」を創設
 - ・32,000千円分の「舞・お座敷券」を発行
- 平成28年度
 - ・26,000千円分の「舞・お座敷券」を発行
- 平成29年度
 - ・26,000千円分の「舞・お座敷券」を発行

【今後の検討事項等】

- ・湯河原温泉の伝統芸能における芸妓の存在感は、湯河原温泉の歴史であり、湯河原温泉独自の伝統文化の伝承及び振興を図るため継続して「舞・お座敷券」を発行予定

24) 狂言の宴開催事業（H27実施）（他の事業へ統合）

湯河原の自然資源を活用する新たなイベントとして、雄大な景観を持つ幕山の湯河原梅林で2月上旬から3月中旬にかけて開催される「梅の宴」の期間中、夕方から夜にかけて照明とプロジェクションマッピングを融合した演出による「狂言」を実施し、新たな宿泊客などの誘客により、宿泊施設、飲食店等の活性化を図る。

■ K P I（重要業績評価指標）

事業効果の指標	実績値 平成26年度(2014年度)	実績値 平成27年度(2015年度)	目標値 平成27年度(2015年度)
開催期間における来場者数の増加見込数	7,500人	963人増	2,000人増

※基本目標I-15「プロジェクションマッピング開催事業」へ統合

25) 湯河原町「基幹産業の立て直し」事業

基幹産業である「観光業」を立て直すために、観光に係る政策を連携・補完しつつ同時進行する。(平成27年度地方創生加速化交付金事業(平成28年度事業実施)、平成29年度地方創生推進交付金事業)

■ K P I (重要業績評価指標)

事業効果の指標	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
観光誘客数(宿泊者増減数)	9,687人減	1,289人減	103,272人増	11,000人増
観光誘客数(宿泊者増減数) ※交付金目標数値 (前年対比)	9,687人減	8,398人増	104,561人増	11,000人増

※平成27年度地方創生加速化交付金事業

※平成26年度 観光誘客数(宿泊者) 577,422人

【実施事項】

○平成28年度

- 1 「観光基盤の整備」
 - 1-7 開運のみち整備事業(平成28年度のみ)
 - 1-15 プロジェクションマッピング開催事業(平成28年度のみ)
 - 1-18 ハロウィンイベント事業(平成28年度～)
 - 1-20 地域の歴史と文化の探訪に向けた地域資源活用事業(平成28年度～)
- 2 「観光資源の再発見」
 - 1-5 趣味100選による新たな魅力づくり事業(平成28年度～)
 - 1-10 海産物の活用事業(平成28年度のみ)
 - 1-11 ゆがわら認定産品制度(湯河原ブランド化推進事業)(平成28年度～)
- 3 「国内外に向けたPR」
 - 1-13 2020年東京五輪開催に向けた文化プログラム推進事業(平成28年度のみ)
 - 1-14 外国人観光客の来訪促進のためのPR事業(海外への情報発信拠点としての姉妹都市調印、日系外国人誘客事業)(平成28年度～)
 - 1-17 グローバル人材育成事業(平成28年度～)

【今後の検討事項等】

- ・地方創生推進交付金を活用しつつ、内容の深化に努める

26) 地域資源を活用した観光地域再生事業

DMOを立ち上げ、「観光基盤の整備」「観光資源の再発見」「国内外に向けたPR」の3つの政策を連携・補完しつつ、同時進行し、「オールゆがわら」の体制で基幹産業である観光業の立て直しを図る。**(平成28年度地方創生推進交付金(第1回)事業)**

※「DMO」とは、観光地づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人のこと

■ K P I (重要業績評価指標)

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
宿泊観光客数	59万人	58万人	57万人	58万人	65万人

※平成28年度地方創生推進交付金(第1回)事業

【実施事項】

○平成28年度

- 1 「観光基盤の整備」
 - 幕山保安林地域整備事業
 - 秋花火誘客事業
 - 灯りの祭典事業
 - 落語一門会
 - 湯元通り地区街なみ環境整備事業
 - ~~温泉場の地域資源の再生・活用事業~~
- 2 「観光資源の再発見」
 - もみじの郷行事開催事業
 - さつきの郷誘客事業
 - 1-1道の駅の設置事業((仮称)ゆがわら道の駅整備地場産品直売所道検討事業)
 - 1-11ゆがわら認定産品制度
- 3 「国内外に向けたPR」
 - 誘客宣伝事業
 - 観光アドバイザー・プロモーション事業
 - 駅前LED広告掲出事業
 - 誘客キャラバン委託事業
 - インバウンド情報発信推進事業
 - パンフレット等印刷事業
 - ポスター観光宣伝事業

【今後の検討事項等】

- ・地方創生推進交付金を活用しつつ、内容の深化に努める
- ・地方創生推進交付金が平成30年度で一度区切りとなるため、地方創生に関する国の動向に注視し、今後の展開について検討する
- ・「観光DMO」の創設については、慎重に進めていく

27) 文化と観光による地域再生事業

温泉場エリアの観光拠点となる文化施設の町立美術館を先駆的な施設へと見直すため、館内に「見えるアトリエ」を整備し、新規事業を行う。さらに、温泉場エリアを面で捉えた事業と連携させ、誘客と滞在時間を増やす。

■ K P I (重要業績評価指標)

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
美術館来館者数	—	442人増	224人増	3,613人増	10,000人増

【実施事項】

○平成28年度

- ・町立美術館の「見えるアトリエ」整備に着手（平成29年8月完成）

○平成29年度

- ・町立美術館内に平松礼二画伯の「見えるアトリエ」オープン（平成29年10月）
- ・平松画伯によるアトリエ案内など事業を開始
- ・美術館に併設したミュージアムカフェ「and garden（アンド ガーデン）」がオープン（平成30年3月）

【今後の検討事項等】

- ・「見えるアトリエ」事業の継続と広報宣伝によりさらなる集客効果を目指す
- ・カフェやアトリエと連携した周遊ツアーを企画
- ・収蔵作品をデータベース化し、汎用性のあるデータとすることで様々な事業へと展開
- ・地方創生交付金の活用を検討していく
- ・インバウンド対策を充実させる

28) 万葉公園・周辺地区まちづくり事業

万葉公園等整備のコンセプト「湯河原温泉場の屋外リビング&ガーデン」に基づき、公園施設の再整備、湯河原観光会館の建て替え、公園周辺地区の開発との調整及び一体的整備を進め、温泉場エリアに魅力的な滞在の核をつくる。

■ K P I (重要業績評価指標)

事業効果の指標	実績値 平成26年度 (2014年度)	実績値 平成27年度 (2015年度)	実績値 平成28年度 (2016年度)	実績値 平成29年度 (2017年度)	目標値 平成31年度 (2019年度)
独歩の湯利用客数	58,342	60,123人	61,590人	63,357人	75,000人

【実施事項】

○平成28年度

- ・官民が連携し万葉公園周辺を再開発するための現状調査を実施
- ・都市公園PPP事業の発案を検討
- ※PPP：パブリック・プライベート・パートナーシップ
＝公民が連携して公共サービスの提供を行うスキーム

○平成29年度

- ・万葉公園及び湯河原観光会館の整備基本計画策定のために必要な与条件の整理、法令上の諸条件の整理

【今後の検討事項等】

- ・都市公園における公募設置管理制度（Park-PFI）を用いた万葉公園及び湯河原観光会館の再整備の方策について検討・実施